



かとう りょうま
加藤 諒真 くん
9か月・町谷



のぐち きあり ちゃん
野口 紗緒里 ちゃん
9か月・瀬尾



ふくだ みつひろ
福田 充弘 くん
2歳・瀬川



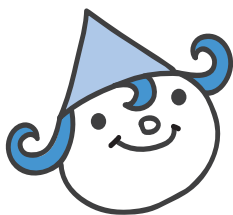
はちすか かいち くん
蜂須賀 快知 くん
4か月・足尾町赤沢



おおくほ ゆめ ちゃん
大久保 優愛 ちゃん
5か月・芹沼

みんなのひろば

お子さん(就学前)の写真を募集します
写真の裏にお子さんの名前(ふりがな)・
生年月日・性別・住所・保護者名・電話
番号を明記の上、応募してください。
送り先 〒321-1292 日光市今市本
町1番地 日光市役所企画部 秘書広報
課 広報広聴係



今月のすまいるさん

「技術は現場で先輩の作業を見て覚えるしかなかった」と話す小野さん。仕事の上でのつらさを聞くと、「やはり冬の寒さですね。現場では暖房器具が使えず、照明の白熱電球くらいしか手を温めるものはないし、顔料の溶剤に使う膠※2は寒さで固まってしまうし、冬はいつ

も大変です」と話してくれました。「日光の社寺の彩色は、金箔きんぱくだけでなく、緑青ろくしょうや群青ぐんしょうなどの高価で鮮やかな顔料も多く使われているので、その華やかさを見てほしい」と見所を教えてくださいました。最後に、「陽明門やうめいもん日光東照宮を修復する時には、何とか自分も携わりたい。それだけを目標に仕事を続けているようなものです」と笑顔で語ってくれました。これからも、小野さんの修復技術が世界遺産・日光の社寺を守り、次代へと引き継いでくれることでしょう。
※1 顔料…社寺の修復などの際に使われる、特殊な絵具
※2 膠…動物の皮などから作る接着剤

あ の さん
小野 宏 さん

今月のすまいるさんは
彩色さいしきの技術者として、世界遺産・日光の社寺の修復に携たすわる、細尾町にお住まいの



なかじん 中神庫(日光東照宮)を修復中の小野さん。顔料を使って、細かい模様ようように、丁寧に色をつけていきます。

